

ア為ス也ノ、謂チシテ又之ヲ使用上ノ消費(Gebranche Consumption)ト云ア此消費中
事モ享樂ヲ目的ナルモナリ享樂的消費ト云ヒ之ニ反シテ一物カ他物フ生産ス
ト為ス也使用セラレタバト余が是レ餘程ノ物能ク成サンカ爲ス也某一般的物能
ヲ制限スルモノニシテ(謂ナ則ヘハ該物ニ以テ其價ニ制限ナリ且ア制トナリ若ノハ該
能ノ制トナルモノナリ)其ノ制限ハ實ニ生産ノ條件(費)タリ此ノ如ク生産ノ條
件タル消費ハ之ヲ生產的(若ハ經)消費ト云フニトワ得ヘン何トナレハ消費セラレ
タル物能ハ形ニ於テ減却セラル、其新產物中價值トシテ存生スルモノナシハナ
ラ此ノ生產的消費ヲ對スルモノハ不生產的消費ナリ不生產的消費ニ屬スルモノ
ハ獨ラ各種ノ經濟上ノ損失並ニ有害ナル出費ノミナラス此ノ外ニ有益ナル目的
ニ向ツテ餘分ニ支出シタル各種ノ出費ヲ包含スルモノナリ

故素ニ由ル不生產的消費亦營業接觸ノ如キハ極力排斥セラルヘカラナルも所謂
奢侈ニ至ラナム必スシモ之ヲ制限スルカラシムソアラ蓋シ嚴正ナム經濟上ソ
曰的ニ於テ人類ノ生活上若クハ其ノ生產上必要ナル方法ニ由ルノ外既存ノ價值
ヲ消費スヘカラムを觀ムルトキニ其相應奢侈之ヲ排斥セラルカラサルナリ然
而對此處外絶對否定觀念ヲ持続カ人類本需要ヲ其最も緊急大底モノガミ
ニ制限スルトキハ却テ大抵ノ弊害又生が結局又經濟上ノ目的ニ反スルギ至ルヘ
キヨト莫知ラサルヘカラズ抑幸吾人人類ノ生活ノ目的タルヤ成ルヘク僅少ノ費
用ヲ以テ多量ノ物能ヲ生產スル其在ラスシテ事ロ其安寧幸福ヲ得ントスルが存
スルニアラナランヤ此目的ハ最モ緊急ニ且ツ最モ普通ナル必要ヲ充タスノミニ
依リテ之ヲ達シ得ヘキニアラス即チ人類カ精神上並ニ肉體上完全ニ發達シ得ヘ
キ或ニ幸福的生活ヲ營爲スルニヨリテ初メテ之ヲ達シ得ヘキナリ例ヘハ適度ノ
遊觀行樂ニ要スル消費ノ如キ公園、美術館、競技會、音樂會又ハ運動會ノ如キハ直接間
接ニ生產力ヲ養ヒ又ハ思想品位ヲ高尚ニシ或ハ一時心身ノ快適ニ供シテ他ノ有
害ナル消費ヲ避ケシメントスルノ致アル也ノト云フコトヲ得ヘシ故ニ奢侈其モ
ノハ絕對ニ非難スヘキモノニアラス要ヘ只適度ヲ得ルヤ否マニ存スルノミ彼ノ
所謂奢侈ノ結果ニシテ殷富ノ存在スル處ニ限リテ奢侈ノ永續ハ期セラル
ベキナ故奢侈ハ一國ノ殷富ヲ表彰スル智良兆候ナリトノ理由ヲ以外適度ノ奢

修ヲモ寬容モ寧トハ國々觀點ノ立場ノ不可否外ト謂サル乍ル然則對モ事
體事外其度要過ス而リヘ達ニ迄若國支那滅亡ニ臨タシカニコト無く彼ナリ
要ス財產者多々高尚ナル需要メ發達者ノ服務在テハ之ニ依ラテ生産ノ動機又高
劣勞働者等勞働ノ需要ミ與ヘ尊重外キ風儀又進メ生活ノ地位又高尚ニシ且
之ヲ奉業セラシノ依テ以テ吾人人類ノ能力ヲ促進モ隨テ開明ノ域ニ進ムモノナ
時々謀ニ謀御テ經濟的消費タレヨモが明白ナリト雖モ之レカ利用ノ法ヲ曉セ
又目的樂ニ定メスシテ徒テ乎價值ヲ浪耗シ精神上較キ肉體上ニ奢侈ニ惡風成
染並因復是法ア計ヲスシナ溼リニ價值ヲ消費シ所得ヲ超過ガテ顧キス從ウテ資
本ノ増殖ヲ期スルニ由ナ力更ニ申ルホ故ナヤ奢侈ハ全タ經濟上有害ノモノト謂
ハサム不文ヌサムナリト

往時大於世大貴者傳乎以テ有審々極ナリト謂御財物力ヨリ之カ驅逐
ニ力メ資財ノ形骸アガヌ見於羅馬優游於之奢侈モ謂スル法律ヲ制定シタバ
キ羅馬其ムサク斯取夫施權ハ財物之豊富レテ賦稅又賦課を無名調定セテ云スヘキ中古
時代ノ末葉參七十後紀念頃貿易又航業又人帶當時最盛之華美之華奢又威勢消費モ
ア利用スルノ傾向ニ益々發達キシテスル時ノ如ケ

第一章 消費ト生産トノ關係

消費ハ價值ノ消滅ナルカ故ニ消費ニハ必ス先ツ生産ナカルヘタラ皆ガコト素リ
リ論ア得タス然レトモ亦生産ハノノ價值ヲ消滅スルモアラナレム之ヲ行フコト
ヲ得ナルモノタリヨンニル氏曰ハタ消費ニ生産ナシト果シテ然ラハ
生産ハ消費ノ必要條件ナルト同時ニ消費ハ亦生産ノ必要條件ナリト云フコトヲ
得ヘタ從ツテ生産ト消費トハ必ス相伴フテ發達スヘキコト明カナリトス固チ社
會經濟ノ發達上缺クヘカラシニ重大ノ要件ハ消費ト生産ト常ニ同一ノ步調ニ保
テ在リ換言スレハ需要ト供給トヲシテ同一ノ歩調ニ在ラシムルニアラサレハ
一國經濟上ノ繁榮ハ得テ期スヘキナアラス之ヲ消費シ個ヨリ觀察スレハ消費ノ


經濟上ニ於ケル成功ハ主トシテ消費高ト生産高トノ均衡ヲ保ツニ存スト云フニ
歸スルナリ

然ル消費ノ高ハ第一ニ財產及ヒ所得ノ分配如何ニヨリ第二ニ所得ベ剩餘ヲ容易ニ且ク安全ニ利用シ得ルヤ否ナニカ、第三ニ國民ノ一部若クハ全部ノ意向ニヨリ第四ニ國家及ヒ公共團體ノ消費ノ方向及ヒ數量ニヨリテ時々ニ變動シ此等ノ事項ニ亦結局一國ノ生産高ニヨリテ配支セラルハ故ニ消費ハ大體ニ於テ生産及ヒ生產ニヨリテ得ベキ所得又超過スルヨリ能ヘナルモノト云フコトヲ得ヘシ然レハ生産高ニシテ增加スルトキハ消費增加シ消費高ニシテ增加スルトキハ生産增加スルノ傾向アル故ニ消費日生産トノ間ニハ互ニ一方ノ額增加スルトキハ自然他ノ一方の額亦增加スベキ關係ヲ具シ消費ト生産トハ常ニ均衡ヲ保チテ發達進歩スルモ大ニシテ此兩者ノ間ニハ永久ノ不均衡カルモノ侵入スルコト能本ナガノ理ナリ唯夫ハ實際ニ於テハ常ニ此ノ如キコト能ハヌ場合斯ニ至一時此均衡之上ニ障害ガ生スルニ其ハ一時の消費カ開一時の所得コト被安本ノ如キ者ノ資本ノ消耗ヲ來歛禁の場合又ハ需要ト供給トノ間均衡破壊シテ漏

（生産者）ハ生産力消費ニ過タル場合ノ如キ是ナリ斯シ如クシテ生産ニ對スル需要ノ不均衡急激ニ起ルトキハ一般ノ經濟的活動ヲ停止シ社會經濟ノ秩序的發達ヲ阻害スルニ至ル此經濟的活動ノ澁滞スル狀態ヲ名ケテ經濟上ノ恐慌ト云フ

恐慌ハ始メ或ル產業ノ部局ニ發現スルヤ其影響ハ獨リ此部局ノミニ止マラス其產業者ノ資產及ヒ信用ノ減削ト共ニ此產業ニ賣リ又ハ貸シ若クハ之ヨリ買ヒ又ハ借ル所ノ關係產業ニ波及シ延イテ一般ノ恐慌來ラ散布シ經濟界ヲシテ騒擾ト困難トヲ感セサルモノナキニ至ラシム左レハ之ヲ豫防スルノ方策トシテ事前ニ在リテハ勤儉貯蓄ヲ獎勵シ生産ニ警戒ヲ加ヘ竝ニ其販路ヲ變更セシメ會社及ヒ銀行ニ對シテ監督及ヒ保護ヲ加ヘ既ニ恐慌ノ端緒現ハルノトキハ成ルヘク其波及ヲ防カシカ爲メニ同種相協力セシメ正貨ノ回収ヲ力メ豫メ割引及ヒ利子歩合ヲ引上クル等時宜ニ應シ多少施設シテ效用アルモノナキニアラスト雖モ事一旦爆發スルニ及シハ容易ニ鎮壓シ得サルノ恐アルカ故ニ根本的ノ豫防トシテハ當必有備ノ如農業者農業者之本業ニ信頼ノ濫用ノ濫用ヲ抑ヘテ生産ト消費トノ均衡

故人不復見，心事空自恨。不識誰家子，歸來猶未曉。
昔我游南越，見此皆可憐。不知何處去，但見風吹草。
風吹草低見牛羊，牛羊散在草叢間。但使願無違，歸來猶未晚。



040094-000-3

モ-18ホ

経済学原論

小林 丑三郎/述

M40

BDD-0076



